

日米知事フォーラム 荒井知事 発言要旨

日付 平成30年8月27日(月), 28日(火)

場所 ホテルニューオータニ 芙蓉の間(27日)

都道府県会館 全国知事会会議室(28日)

○奈良県の紹介

- ・奈良は天皇制の誕生の地である。初代天皇である神武天皇が即位したのが奈良。
- ・現天皇は125代の天皇となる。奈良は日本建国の地と言われている。
- ・702年の遣唐使が「日本」という国号を願い出て許された。中国語ではジヤパンクオと言った。その後、マルコポーロがジパングと言った。これがジャパンの由来。
- ・710年に天皇が奈良を首都にした。私たちは、8年前に平城京遷都1300年記念のお祝いをした。
- ・次に、仏教について、仏教は神道と並ぶ日本では主要な宗教である。
- ・日本人は仏教が外来の宗教であることを忘れがちである。
- ・仏教の発祥の地である北インドから、中国、韓国を通過して、6世紀にアジアの極東の島に伝来した。
- ・奈良には、6世紀から8世紀に彫られた仏像がたくさんある。
- ・日本古来の神道も重要な宗教であり、外来の宗教、古来の宗教が今まで共存してきた。
- ・奈良はシルクロードの東の果てにあり、アフガニスタン、インドなどから来た伝来品が保存されている。貴重な財宝を1000年以上の長い期間、守り続けてきた。
- ・「世界と通じる」、「交流する」、ということは、国の発展に不可欠である。
- ・50年前、私はアメリカの大学で教育を受けた。
- ・その素晴らしい教育のおかげで、私は、海上保安庁長官、国会の参議院議員、出身県の知事にもなれた。
- ・スライドの左側のヒッピースタイルの人物が当時の私の姿。髪もふさふさ、あごひげもあった。右側が同じ人物の50年後の姿である。

○新産業創出と国際投資促進における地方政府の役割

- ・奈良は内陸地であり、グローバル経済のなかで苦勞している。
- ・産業における、アメリカと奈良の繋がりについて、一例をあげると、アメリカ北東部で伐採された木が木材に加工され、日本に輸出される。それを奈良県内の工場でコーティング加工している。
- ・奈良の従来の産業は繊維と木材であるが、旧式の産業、市場は縮小している。
- ・新しい産業が必要である。そして、雇用を生み出さないといけない。
- ・新しいエンジンとなる産業として、モジュールの生産、食品の製造、観光、教育などが考えられる。
- ・このような産業のクラスターをつくっていきたい。
- ・新しい工場がどれだけ奈良につくられているのかというと、全国で11位。
- ・新しい工場が奈良で増えている理由としては、まず安全面があげられる。洪水や津波、自然災害に強い。また、高速道路、鉄道などが便利。土地のコストが低い。労働力が安い。教育のレベル、医療のレベルが高い。
- ・また、輸送、インフラに優れている。関西空港まで80分、大阪空港まで60分、3時間以内で東京に行くことができる。
- ・リニア中央新幹線は、奈良市の近くに駅ができる予定である。
- ・このような中で、奈良とアメリカの間で新しいビジネスの繋がりを設けたいと考えている。
- ・奈良において、どのような形で中国、韓国、中央アジア、東南アジアのマーケットが変わっているかを知ることができる。歴史文化的に繋がりが強く、ソフトパワーがある。それらが企業の安定した関係作りにも有効である。
- ・ぜひ直接投資をお願いしたい。そしてウィンウィンの関係を築きたい。

○人材育成と教育

- ・奈良がどのようにして、東アジアの人材育成の中心になろうとしているかを話したい。
- ・東アジア地方政府会合を開催しており、そこでは政治的な意思決定のためではなく、ディスカッションのため、対等の立場から、共通の課題について継続的に議論をしている。
- ・この取組を地方自治体職員的能力開発につなげたいと考えている。

- ・ 会合には様々な専門家が参加している。今年、奈良で開催される会合は、農業、林業、人材育成などをテーマに実施する。アメリカの皆様にも参加して欲しい。
- ・ 別のトピックだが、東アジア・サマースクールを開催している。
- ・ 素晴らしい教授陣が講義する。講義も討議も日本語。授業料は無料。
- ・ 奈良も唐に人を派遣していたが、その感謝を表している。
- ・ 2週間のセミナーに、何人もの学生が参加している。彼らは、東アジアの将来のビジネスについて、強い願望を持っている。
- ・ 将来、東アジアの市場で働きたい方に、ぜひ参加していただきたい。
- ・ 私は、1945年に生まれた。こういう機会を提供できれば、戦争にはならなかったのではないかと考えている。
- ・ いずれにせよ、学術研究活動を奈良で強化していきたい。特に、医学教育、文化の保存、森林保護、論理科学などの分野で強化していきたい。
- ・ 人材育成こそが地域の未来に繋がるので、頑張っていきたい。